

蕎麥の花

環 真砂緒子

山深きひとつ家なれど

蕎麥の花しろじろ咲きて

ひそやかに秋は來にけり

こころなく歳は長けねど

ふくらみぬおもき乳房に

つのりゆく胸のときめき

眞白なる蕎麥の花にも

それとのう夢を偲ばせ

せつなしやうるむ眸よ。

「山桜」昭和九年九月号

(小曲)